

ツネログ

#01 2024年8月号

この『ツネログ』で お伝えしたいこと

このたび、私、宮本恒靖が第15代JFA会長として活動していく中で感じたこと、全国の皆さんとシェアしたいことなどを「ツネログ」を通じて発信させていただくことになりました。

7月、能登半島地震復興支援プロジェクトの一環として石川県能登町、輪島市の門前地区、輪島地区に続き、珠洲市において「JFA・キリン ビッグスマイルフィールド」を開催しました。被災地域の皆さんとウォーキングフットボールをプレーして、笑顔あふれるイベントになりました。かき氷を振る舞うボランティアの中に、宮城県石巻市出身だという20歳前後の2人の女性がいました。彼女たちから「2011年の東日本大震災で被災したときに、サッカーに元気づけてもらった。それがずっと心に残っている。だからこのイベントを知ってぜひ参加したかった」と聞き、サッカーファミリーによる活動の積み重ねが、人と人の心のつながりを生んでいるのだということをあらためて実感しました。サッカーを通じて被災地域に寄り添いつつ、このようなイベントを通じて発信し続けることで被災地域の現状を多くの人に知っていただき、支援の輪を継続して広げていくことができると考えています。



ほかにも印象に残った出来事と言えば、6月に秋田県にかほ市で開催された全日本O-60、O-70サッカー大会でしょうか。皆さんとてもハツラツとプレーされていましたが、中でもスピード感あふれるプレーで目を引いた選手の方に声を掛けたと、年齢が80歳と聞いて本当に驚きました。今は人生100年時代。全国大会へのエントリーも増えています。シニアプレーヤーの皆さんに生涯スポーツとしてサッカーを楽しんでいただき、健康増進につなげていくためにも、競技環境や大会を整備していかなければなりません。10歳括りではなく5歳括りにすることなどもより踏み込んで検討していく必要があると感じています。

昨年3月に発表した「JFA中期計画2023-2026」ではシニア、キッズ・4種、女子の3つをこれから最も力を入れていくべき重点領域としています。少子高齢化が進む中、男女ともにグラスルーツに力を入れて全体の登録数を伸ばしていくとともに、「エリートスポーツ」「生涯スポーツ」のダブルピラミッドをしっかりとしたものにしていければと考えています。

また、先日都内を散歩していたときに、日本代表の新しいレプリカユニフォームを着た小学生とすれ違いました。「FIRE(炎)」をテーマにしたデザインを私自身とても気に入っているので、どのような感想を持っているかちょっと聞いてみたくなりましたが、怖がられてもいけないと思い直して止めておきました(笑)。カッコいいと思って着てくれていると信じています。

このような感じであまり硬くならず、ありのまま発信していければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

会長の活動報告

2024年3月23日～7月18日(抜粋版)



皆さまの信任を得て、JFA第15代会長という責任ある役職を拝命しました。現役の頃から「この国でサッカーをもっと大きな存在にしたい」という思いを抱いてきました。先人が培ってきた日本サッカーのこれまでの100年を継承し、これからの100年の礎を皆さまと共につくっていければと思っています。



就任翌日、ノエビアスタジアム神戸で開催されたWEリーグ「INAC神戸レオネッサvs.AC長野パルセイロレディース」の試合を視察しました。女子のサッカーをより輝かせるためにはトップリーグであるWEリーグを充実させる必要があります。まだまだ課題も多いですが、しっかりと支えていきたいと考えています。



AFC総会とFIFA総会に出席しました。総会は各国FAとの関係強化のためにも非常に重要な機会ですし、これとは別に各大陸連盟や各国FAとのミーティングも設けています。JFAとして国際サッカー界での意思決定に参画し、日本のプレゼンスを高めていくために取り組んでいきます。(写真はウクライナサッカー協会のアンドリー・シェフチェンコ会長と)



バンコクからそのままパリに移動し、JFAユニクロサッカーキッズに参加しました。元日本代表監督のフィリップ・トルシエさんとも久々に再会。フリーアナウンサー・雨宮塔子さんの進行の下、120人ほどの子どもたちがトルシエさんや元フランス代表のクリストフ・デュガリーさん、内田篤人キャプテンとともにサッカーを楽しんでくれました。



「日本サッカーを応援する自治体連盟」の総会に出席しました。昨年同様、集合とオンラインのハイブリッド開催となりましたが、58自治体の代表者の方にご参加いただきました。各自治体の皆さまには日本サッカーの発展に向けて日頃から多大なるご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。



シニアの2大会に伺いました。ボールを追いかけるシニアプレイヤーの皆さんの迫力に本当に驚かされました。シニアの拡充はこれからの日本サッカーを考える上で非常に重要なテーマですので、より多くのプレイヤーが生涯にわたってサッカーを楽しめるような土壌を整えていきたいと考えています。

3/23(土) 定時評議員会にて
第15代日本サッカー協会会長に選出(JFAハウス)

3/24(日) WEリーグ INAC神戸レオネッサvs.AC長野
パルセイロレディース(ノエビアスタジアム神戸)

3/25(月) 国際親善試合 U-23日本代表vs.U-23ウクライナ代表
(北九州スタジアム)

4/8(月) Jヴィレッジ訪問。JFAアカデミー福島の入校式に出席

4/9(火) 『劇場版ブルーロック -EPISODE 凪-』公開直前イベント
(blue-ing!)

4/18(木) 第6回理事会(JFAハウス)

4/20(土) 「令和6年能登半島地震復興応援チャリティーマッチ
～未来へ、想いをつなぐ～」に参加(金沢ゴッホスタジアム)

4/23(火) 第4回Jリーグ理事会(Jリーグ)

5/4(土) AFC U23アジアカップカタール2024決勝
日本vs.ウズベキスタン(カタールドoha)

5/10(金) AFC女子クラブ選手権2023決勝
三菱重工浦和レッズレディースvs.仁川現代製鉄レッドエンジェルズ
(浦和駒場スタジアム)

5/11(土) AFCチャンピオンズリーグ2023/24決勝
横浜F・マリノスvs.アルアイン(日産スタジアム)

5/16(木) 第34回AFC総会(タイ/バンコク)

5/17(金) 第74回FIFA総会(タイ/バンコク)

5/19(日) JFAユニクロサッカーキッズinフランス
(フランス/クレールフォンテーヌ)

5/21(火) 日本サッカーを応援する自治体連盟
令和6年度総会(JFAハウス)

5/23(木) 第7回理事会(JFAハウス)

5/24(金) AFCコンペティションコミッティー(カタール)

5/26(日) AFCチャンピオンズリーグ2023/24決勝
アルアインvs.横浜F・マリノス(カタール)

6/6(木) FIFAワールドカップ26アジア2次予選
SAMURAI BLUE vs.ミャンマー代表(ヤンゴン)

6/9(日) JFA 第24回全日本O-60サッカー大会
JFA 第18回全日本O-70サッカー大会
(秋田県にかほ市)

6/11(火) FIFAワールドカップ23アジア2次予選
SAMURAI BLUE vs.シリア代表
(エディオンピースウイング広島)

6/16(日) JFA | ANESSA キッズイベント for ANESSA Sunshine Project (JFA夢フィールド) JFA×文京Dream Project 「街とみんなの運動フェス」(小石川運動場)

高円宮記念JFA夢フィールド(千葉県千葉市)で「JFA|ANESSAキッズイベントfor ANESSA Sunshine Project」に出席。その後、小石川運動場(東京都文京区)に移動し、「街とみんなの運動フェス」(JFAが参画する「文京区スポーツ推進共同事業体」の自主事業の一環)に参加しました。パートナー各社、行政のほか、さまざまなステークホルダーと価値共創できるように、引き続き取り組んでいきます。



6/17(月) サッカー外交推進議員連盟、EU代表部、EU加盟国大使外交団親善試合(東京)

6/19(水) U-16インターナショナルドリームカップ2024 JAPAN (Jヴィレッジ)

6/20(木) 第8回理事会(JFAハウス)

6/21(金) 「アディダス サッカー日本代表2024ユニフォーム」ローンチイベント(フランス/パリ)

パリ・ファッションウィークで「サッカー日本代表2024ユニフォーム」を発表するにあたり、10数年ぶりにパリを訪れました。「Y-3」のデザインはスタイリッシュで格好良く、私自身、コンセプトである炎のグラフィックがとても気に入っています。炎のように強烈な日本代表選手の個が一つになって、チームとして凄まじい力を発揮する、その瞬間をこのユニフォームを通じて皆さまと共有したいと思います。(写真は藤田譲瑠チマ選手、長野風花選手と)



6/25(火) 第6回Jリーグ理事会(Jリーグ)

7/7(日) 臨時評議員会(オンライン)

7/13(土) 「MS&ADカップ2024能登半島地震復興支援マッチ がんばろう能登〜」なでしこジャパンvs.ガーナ女子代表(金沢ゴージャススタジアム)

7/14(日) 「JFA・キリン ビッグスマイルフィールドin珠洲市」(珠洲市立三崎中学校)

MS&ADカップの翌日は珠洲市に向かい、森保一日本代表監督や巻誠一郎さんとともにウォーキングフットボールの交流イベントに参加しました。写真は参加者と考案したゴールパフォーマンスです(笑)被災地域では倒壊した建物がそのまま残っていたり、道路が通行止めになっていたりと今なお厳しい状況が続いています。これからも被災地域に寄り添いながら復興支援活動を継続していく考えです。



7/18(木) 第9回理事会(JFA夢フィールド)

理事会トピックス

2024年度第9回理事会が7月18日(木)、高円宮記念JFA夢フィールドで開催されました。主なトピックスをお伝えします。詳細およびその他の決議・報告事項については、JFA公式ウェブサイトをご参照ください。

決議事項

フットサル日本代表監督に高橋健介氏

契約満了で退任する木暮賢一郎前監督に代わり、高橋氏がフットサル日本代表の監督に就任することになりました。高橋氏は、現役引退後にバルドラール浦安、フットサルインドネシア代表監督などを歴任し、2022年からはフットサル日本代表とU-20フットサル日本代表のコーチを務めていました。

第20回日本サッカー殿堂でアルベルト・ザッケローニ氏を掲額

今回、特別選考によって掲額されるザッケローニ氏は2010年9月から14年7月にSAMURAI BLUE(日本代表)の監督を務めました。SAMURAI BLUEを南米や欧州の列強国と渡り合えるまでに成長させた手腕が評価され、殿堂入りが決まりました。

なお、投票選考による掲額者については、候補者6名(原博実氏、森下申一氏、柱谷幸一氏、都並敏史氏、松永成立氏、柱谷哲二氏)の投票を実施した結果、掲額対象となる得票率75%以上の方はなく、該当者なしとなりました。

報告事項

石川雅人氏、中村憲剛氏がS級コーチライセンスを取得

CHUO SPORTS ACADEMY U-15のコーチを務める石川氏、川崎フロンターレU-18や中央大学サッカー部で指導している中村氏がS級コーチとして認定されました。

これにより、S級コーチライセンスの認定者は、575名となりました。

EAFF U-15女子選手権2024 出場チームのコーチングスタッフ

EAFF U-15女子選手権2024(8月16日~25日/中国・大連)に出場するU-15日本女子代表チームの監督に中野浩氏、コーチに横道玲香氏、GKコーチに安齋和之氏が選任されたことが報告されました。

詳細およびその他の
決議・報告事項についてはこちら

[https://www.jfa.jp/about_jfa/report/
executive_committee.html](https://www.jfa.jp/about_jfa/report/executive_committee.html)



JFA副会長

西原一将さんを

マンマーク!

第1回は今年3月、JFA副会長に就任した西原一将氏との対談。業務用食品卸業を営む西原商会の社長であり、2016年から鹿児島県サッカー協会会長を務められてきました。

宮本 初めて会ったのは2022年の9地域の訪問会議ですね。西原さんが一番前に座られていて、「値踏みされてるなあ」と(笑)。

西原 値踏みなんてとんでもない、ファンとして見てただけですよ(笑)。

宮本 そこから何回か顔を合わせて話をする機会がありまして、会社経営の傍ら、鹿児島県協会の運営においてもいろいろと工夫されてきた経験がある。力を貸してくださいという思いで、JFAに来ていただきました。

西原 宮本さんからお電話いただいたんですね。「理事会に入ってもらって県協会の経験と経営者としての知見を」と。まさか理事(の打診)ということでしょうか、と。われわれの世代で宮本さんに言われて断れる人なんていませんから、お受けしますと返しました。すると「副会長をお願いします」と言われて、やられたと思いましたよ。副会長ならやしませんとはもう言えないですから。その代わり、もし使えないと判断したらすぐクビにしてくださいとお願いしました。

宮本 西原さんも学生時代サッカーをされていました。

西原 中高では弱小サッカー部の補欠でしたから。同い年の宮本さんは憧れの存在ですよ。こうやって一緒にさせていただいても、何だか不思議な感じがします。

宮本 こちらはもう不思議な感じはしていないですよ。(西原さんは)日本サッカー界を発展させていくために必要な視点を持っていらっしゃると思います。歩んできたバックグラウンドが違うからこそ西原さんの発想や考え方にはすごく学びがあると感じていました。やはり一番お願いしたいのは、JFAの47FA・加盟団体・普及推進部(以下、47FA普及推進部)と一緒に改善策をどんどん練っていただきたいということです。

西原 まずは皆さんとよく話をして方向性を決めていく必要があります。ただ、都道府県サッカー協会ごとに自主財源を少しでもつくれるようにするというのは、JFAだけでなく各都道府県協会が持っている課題としてもある。どうつくっていくかは、47FA普及推進部と一緒に、ある程度早い段階で見いだしていかなければならないと考えています。

宮本 かつてはこうやってみましょうと伝えても都道府県協会側がなかなかイメージしにくいところもあった。今は具体例をちゃんと持って、明確な提示ができるフェーズに変わってきています。西原さんの力を借りて、そういうアプローチを強めていければと考えています。

西原 各都道府県協会が主体的にやっていただくところと、JFAである程度方向づけてからやっていただくところがあると思いますが、宮本さん、47FA普及推進部とコミュニケーションを取りながら、後者のほうのボリュームを上げたほうがいいんじゃないかっていう話をしているところですよ。

宮本 JFAとしてどうしてほしいのか(ということ、都道府県協会側が)持っているという話を聞いています。だからこそ明確にこうやっていきましょうと伝えていく部分と、自主的に進めてくださいという部分をうまく分けていくことができればいいと思いますね。

西原 やはりJFAという大きな組織で動こうとすると地域ごとに課題も違えば、関係者の顔も見えづらい。パワーが要るので難しいところはあります。でも都道府県協会ごとであれば機動的にできてしまうこともある。それが良さだとも感じます。

宮本 例えば、成功事例を共有することも大事になってくると思うんです。マーケティングのみならず、いろいろな面で横のつながりを広げていくことができればいいなと。



西原 都道府県協会の専務理事レベルでは横のコミュニケーションが取れています。ただし、戦略的に成功事例を共有して取り組んでいくところまでは至っていないので、もっと発展させていく余地はありますね。

宮本 JFA内部においてもコミュニケーションを増やして組織の風を少しずつ変えていきたい。そういった面でも西原さんのご協力をいただけたらと思います。

西原 宮本さんがつくりたい日本サッカー界を、どのようにサポートできるか。それが自分のやるべき仕事だと思っています。宮本さんから期待されていることをしっかりと頑張っていきます。

西原一将 (にしはら・かずゆき)

1976(昭和51)年5月1日生まれ。鹿児島県出身。一橋大学商学部経営科卒業後、株式会社KDDIに入社。05年に株式会社西原商会関東に入社し、07年9月、株式会社西原商会の役員に就任。12年3月、同社代表取締役社長に就任し、現在も同職。16年5月からは鹿児島県サッカー協会会長を務め、24年3月に公益財団法人日本サッカー協会の副会長に就任。
▶株式会社西原商会 <https://www.nishihara-shokai.co.jp/>



▶ 対談動画公開中!



※次号は2024年10月に発行予定/本誌クレジット表記のない写真: ©JFA、©JFA/PR、©Jリーグ、©WEリーグ

